

事業所名

ことり

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和 6 年

10 月

20 日

法人（事業所）理念		放課後等デイサービスを利用しているこどもが自分の本来持っている力を生かして、社会とつながり、楽しくすごせるように					
支援方針		利用者さんが生活している又は生活していく環境や場所をより良いものにしていくために、以下の5領域の指導及び訓練を行い、利用者さんの周りの環境と連携した支援を行う。指導及び訓練においては、さまざまな体験を積み、人と関り、身体及び精神の成長を図るものである。					
サービス提供時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	（あり） なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）、基本的生活習慣を身に付ける（手洗い、整理整頓、靴をそろえる等）、体調把握、気分確認、調理体験、食事のマナー・姿勢					
	運動・感覚	外遊び、じゃんけんゲーム、魚釣り遊び、音楽に合わせて体を動かす遊びや運動、手先の巧緻性や器用さをはぐくむ（工作、折り紙）、体幹トレーニング、目と手の協応訓練（ビジョントレーニング、風船ピンポン、積み木）					
	認知・行動	天気・気温・日付の把握と確認による感覚・数の認知形成、粘土による物質の変化と感覚の認知形成、ブロック遊びによる空間把握の認知形成、季節の変化への興味などの完成形成のための外出・行動、学校の宿題（計算・漢字・ローマ字）、英語の実践トレーニング、ＩＣＴ機器の使い方、スケジュールやルール表示、認知機能トレーニング、認知作業トレーニング					
	言語コミュニケーション	来所時の気分・気持ちを言語表出・受容、個別または小集団での障害の特性におうじた漢字コグトレ、アサーション（自分の気持ちを発信する）、相手の気持ちや状況を読み取る、あいさつ、英語の実践トレーニング、社会人になるための心得について考える、ルールなどを絵や文字などを使って視覚化					
	人間関係社会性	あいさつ、ちくちく言葉・ふわふわ言葉、社会見学、ルールの理解が必要な遊び（トランプ、百人一緒、鬼ごっこ等）や集団遊び、イベントなどを通じた地域との交流（ボーリング、夏祭り等）、一人遊び・平行遊び・連合的な遊びの組み合わせ					
家族支援		アタッチメントの安定、家族からの相談に対する適切な助言、利用者さんが通っている学校との情報共有			移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けての支援、学校や利用者さんが通われている他の機関との情報共有	
地域支援・地域連携		地域の子ども家庭センター（子ども未来課）や相談支援事業所、障害福祉課、社協との連携			職員の質の向上	新入職者研修、スキルアップの研修、法定研修（虐待防止、身体拘束解消、防災、衛生管理など）、家族心理・発達障害・不登校（家族心理学会、日本心理臨床学会）、キャリアコンサルタント研修	
主な行事等		ハロウィン、クリスマス会、電車に乗って水族館・遊園地に行く、動物と触れ合う、バーベキュー、カラオケ、ブドウ狩り、ボーリング大会、地域の行事に参加					